

暑い夏!! 2万4千人が歓喜

太陽と森と湖の祭典

第33回かなやま湖々水まつり

第11回太陽と森と湖に親しむ博覧会

700メートルの「ナイアガラの滝」

7月24日と25日の2日間、かなやま湖太陽と森と湖の祭典実行委員会主催の「第33回かなやま湖々水まつり」と「第11回太陽と森と湖に親しむ博覧会」が開催され、延べ2万4千人の観客で賑わいました。

前夜祭では、みこし隊による「餅まき」がオープニングを飾り、「ニジマスのかみどり」に、キャンパーなど、大勢の子ども達が歓声と水しぶきを上げていました。

湖畔ステージでは、「ライブインかなやま湖」が行われ、地元出演者などによるバンド演奏、ハート音楽院アンサンブルによるファミリコーンサートで盛り上がりました。

翌日の本祭では、幾寅小学校児童による鼓笛、幾寅中学校のブラスバンド演奏、狩勝太鼓、仮面ライダーショーなど盛りだくさんの催しが行われ、名物「山賊焼」や商工会の出店会場、森と湖の博覧会も大盛況でした。

本町出身の歌手・石上久美子歌謡ショーが始まると、会場の熱気は徐々に高まり、チェリッシュ歌謡ステージで最高潮を迎え、フィナーレを飾る3千発の花火の迫力と湖面に掛かる「ナイアガラの滝」の壮観さに、歓喜の音が響いていました。



チェリッシュ歌謡ショー